

東京大「推薦入試」・京都大「特色入試」 合格者数発表！

東京大、京都大ともに募集人数に満たず
エリート選抜入試のハードル高く

旺文社 教育情報センター 28年2月25日

平成28年度入試より、東京大・京都大において新たに推薦・AO入試が導入された（東京大は全学部推薦入試）。一般入試の後期復活となる京都大-法を除き、両大学とも全ての学部において2月10日までに合格者を発表した。

高い出願要件が並ぶ「エリート選抜入試」と注目されたが、両大学ともに一部の学部を除き、書類審査となる第1次選抜は高い合格率だった。それに対して最終的な合格者は募集人数を大きく下回る結果となった。欠員分は一般入試前期日程の募集人員に加算される。

◆東京大「推薦入試」募集100名に対し、合格者は77名！

以下に各学部の段階別合格者数を一覧で示した。

学部別合格者数

学部・学科	募集人員	出願者数	第1次合格者数	最終合格者数	実質倍率
法学部	10人程度	24	24	14	1.7
経済学部	10人程度	7	7	4	1.8
文学部	10人程度	10	10	3	3.3
教育学部	5人程度	9	6	4	2.3
教養学部	5人程度	17	11	2	8.5
工学部	30人程度	47	44	24	2.0
理学部	10人程度	32	24	11	2.9
農学部	10人程度	12	12	9	1.3
薬学部	5人程度	4	4	3	1.3
医学部 医学科	3人程度	9	5	2	4.5
医学部 健康総合科学科	2人程度	2	2	1	2.0
計	100人程度	173	149	77	2.2

科類別合格者数

入学許可科類	合格者数
文科一類	15
文科二類	4
文科三類	8
理科一類	32
理科二類	16
理科三類	2
計	77

・第1次選抜は提出書類の内容により行われ、合格率は86%という高い数値となった。なお、学部によっては、第1次選抜で不合格者を出さなかった学部もあった。

・最終合格者は、提出書類の内容、面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績を、総合的に5段階で評価して決定された。なお、センター試験の成績には8割程度以上という基準点が設けられた。これはあくまでも「程度」であり、従来的一般入試のようにセンター試験が「1点でも高かったら合格」ということはない。センター試験の成績が基準点に多少届かなくても、総合的に要件を満たすと判断されて合格した者も存在した模様だ。

・合格者数が募集人数に満たない結果となったが、これに対し、大学側は記者発表で「各学部が求める推薦要件を満たす高校生は世の中にもっといると考えている」とした。

また、募集要項に記載されている「求める学生像」のハードルが高かった可能性も示唆し、来年度は要項の表現や高校への周知について、高校とも連携をとりながら、改善していく意向を示した。

・本推薦では、女子の合格者が37.7%、関東圏以外の高校からの合格者が55.8%と、一般入試と比較して高い割合だった(2015年一般入試では、女子の合格者は前期18%、後期14%。関東圏以外の高校からの合格者は合計40.7%)。この結果に対し、大学側は「推薦入試の基本方針である“学生の多様性の促進”に沿った結果と捉えている。多様性を促進できた理由は、出願できる人数を“1校につき男女各1名まで”と制限したから。また、選考過程において、多様性の面で一部の学生が不利になることはない」とした。

・本推薦での合格者は、「進学選択制度」によらず、後期課程(3年次以降)で進学する学部は出願時に受験者が選択することができる。一方、前期課程(1・2年次)は各学部の担当教員が選考の過程で合格者に適していると判断した科類に配属される。

◆京都大「特色入試」合格者は60名で募集人員のわずか7割！

以下に各学部(法学部を除く)の段階別合格者数を一覧で示した。

学部・学科・専攻			募集人員	志願者数	第1次選考合格者	第2次選考合格者	最終合格者	実質倍率
総合人間学部			5	29	29	-	5	5.8
文学部			10	40	9	-	7	5.7
教育学部			6	25	12	7	5	5.0
経済学部			25	77	61	-	25	3.1
理学部			5	59	59	5	5	11.8
医学部	医学科		5	5	5	-	1	5.0
	人間健康科学科	看護学専攻	10	13	13	10	1	13.0
		理学療法専攻	3	7	7	4	2	3.5
		作業療法専攻	3	2	2	2	2	1.0
薬学部	薬科学科		3	2	2	2	0	-
工学部	地球工学科		3	0	0	0	0	-
	電気電子工学科		5	12	-	-	3	4.0
	情報学科		2	1	1	1	1	1.0
	工業化学科		若干	0	0	-	0	-
農学部	食料・環境経済学科		3	20	10	-	3	6.7
計(法学部を除く)			88	292	210	31	60	4.9

・文・経済・農学部を除く各学部の第1次選考は提出書類の内容により行われ、90%以上の合格率となった。なお、学部によっては、第1次選考で不合格者を出さなかった学部もあった。

・教育・理・医(医学科を除く)・薬・工学部(情報学科)は、第2次選考後に再度結果発表を行い、通過者はセンター試験の基準点を満たすことで最終合格となる。第2次選考合格者31名中、最終合格したのはわずか16名だった。